

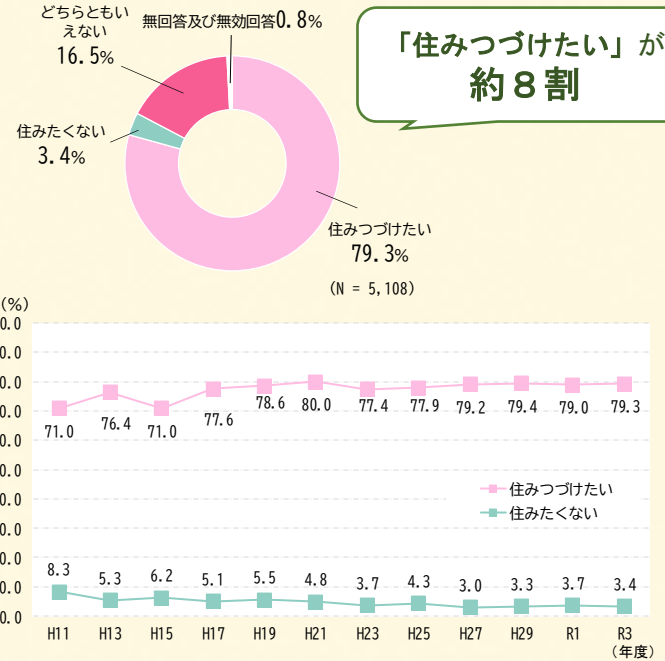
# 未来へ躍動するまちづくりに あなたの声を

排  
吉  
郎  
の  
ま  
ち  
岡  
山



## —令和3年度「市民意識調査」結果から—

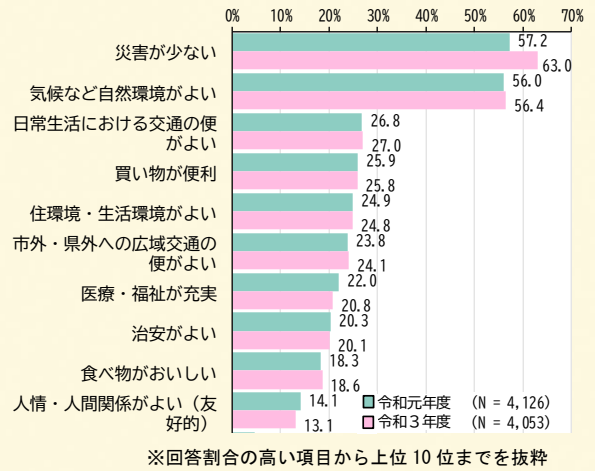
**Q** 今後岡山市に住みつづけることについて  
どのようにお考えですか。



**Q** 住みつづけたいと思われるのはどのような理由からですか。(複数回答)

岡山市への  
定住性

「災害が少ない」  
「気候など自然環境がよい」  
が5割を超える



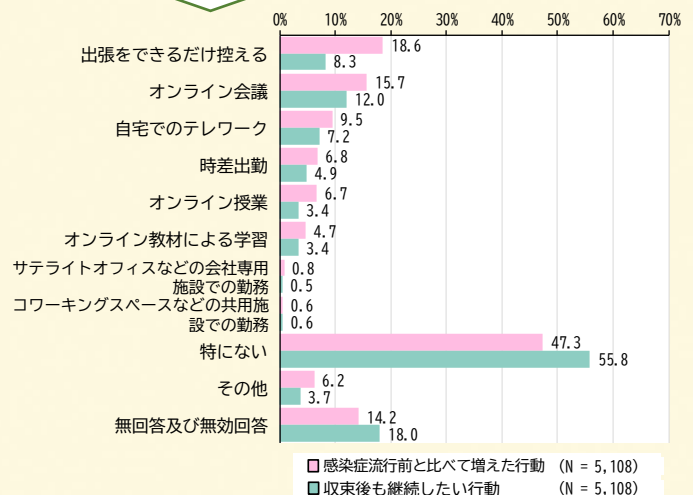
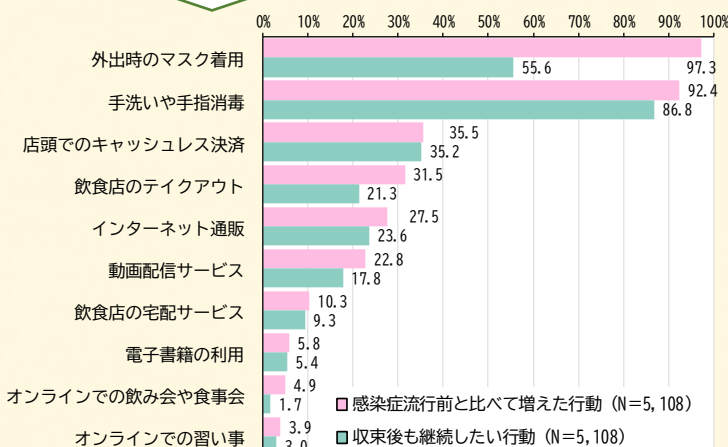
**Q** 日常生活で、①感染症流行前と比べて増えた行動、②収束後も継続したい行動はありますか。(複数回答)

**Q** 仕事や学校で、①感染症流行前と比べて増えた行動、②収束後も継続したい行動はありますか。(複数回答)

コロナ禍での  
行動変容

○感染症流行前と比べて増えた行動  
「マスク着用」「手洗いや手指消毒」が9割を超え、  
「キャッシュレス決済」「テイクアウト」「インターネット通販」なども増加

○感染症流行前と比べて増えた行動  
「出張を控える」「オンライン会議」「テレワーク」など。「オンライン会議」は「出張を控える」に比べて継続率が高い

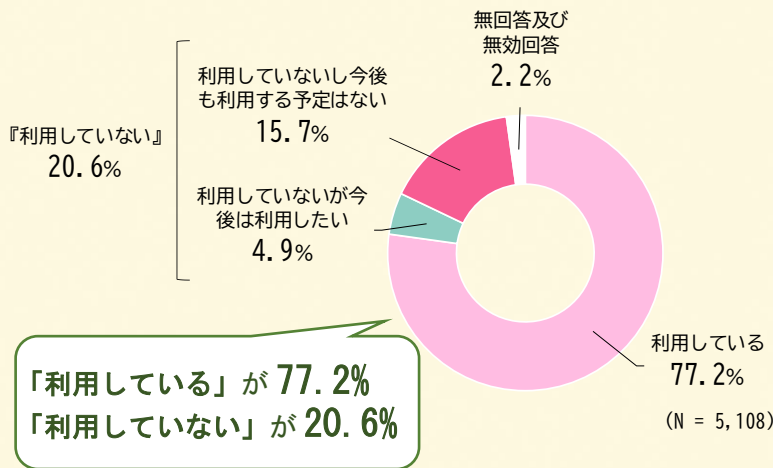


※回答割合の高い項目から上位10位までを抜粋

(N=回答者数)

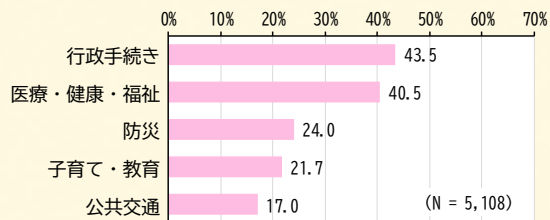
## デジタル化の推進

**Q** パソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットを利用していますか。



**Q** 岡山市がどの分野でデジタル化の取組を特に進めるべきだと思いますか。(複数回答)

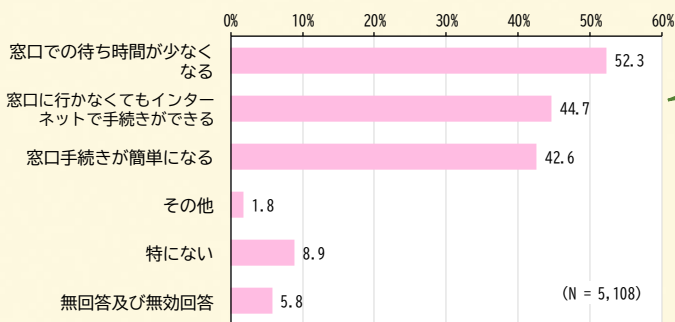
「行政手続き」「医療・健康・福祉」が **4割を超える**



※回答割合の高い項目から上位5位までを抜粋

**Q** 窓口業務のデジタル化で、どのような効果を期待しますか。(複数回答)

「窓口での待ち時間が少なくなる」が **52.3%**  
次いで「窓口に行かなくてもインターネットで手続きができる」「窓口手続きが簡単になる」の順で、いずれも **4割を超える**

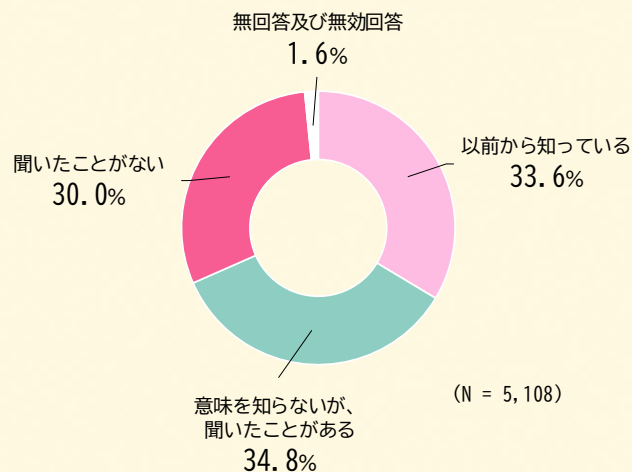


**Q** ゼロカーボン（脱炭素）という言葉の意味を知っていますか。

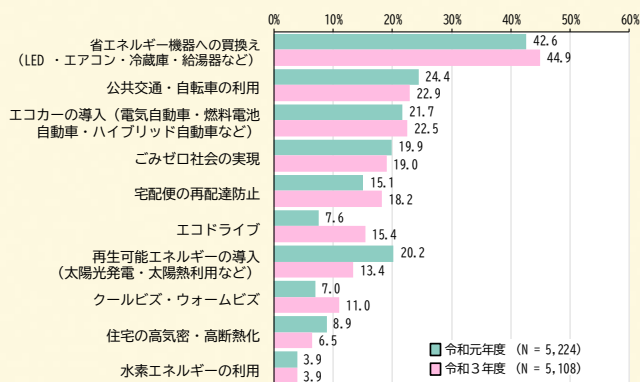
**Q** 今後、積極的に取り組む必要があると思うものをお選びください。(複数回答)

## 脱炭素社会の実現

「知っている」が **33.6%**、  
「聞いたことがある」が **34.8%**



「省エネルギー機器への買換え（LED・エアコン・冷蔵庫・給湯器など）」が **4割を超える**

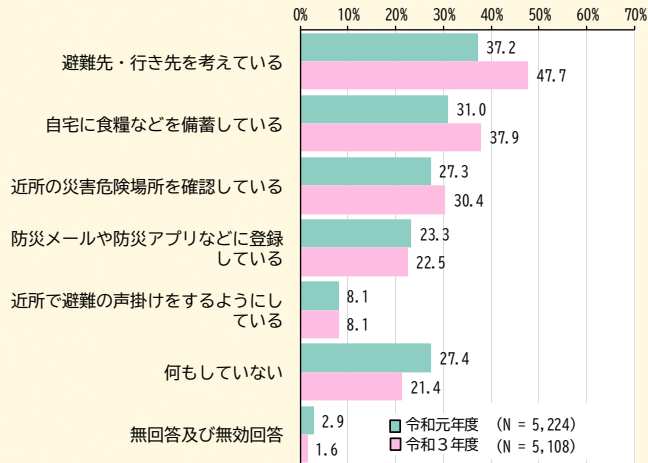


※回答割合の高い項目から上位10位までを抜粋



日ごろから災害への備えをしていますか。  
(複数回答)

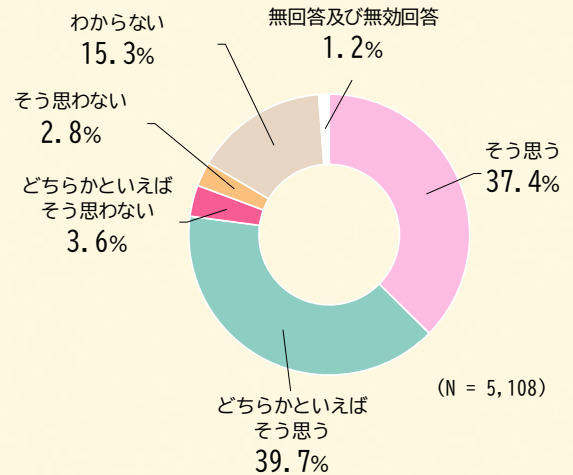
「避難先・行き先を考えている」が**47.7%**  
次いで「自宅に食糧などを備蓄している」が  
**37.9%**



お住まいの地域の「個別避難計画」の作成は必要だと思いますか。

**防災対策**

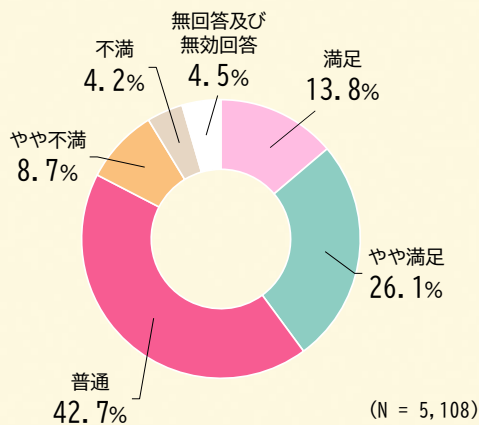
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「必要だと思う」割合は**約8割**



お住まいの地域の拠点の満足度を選んでください。

**拠点形成**

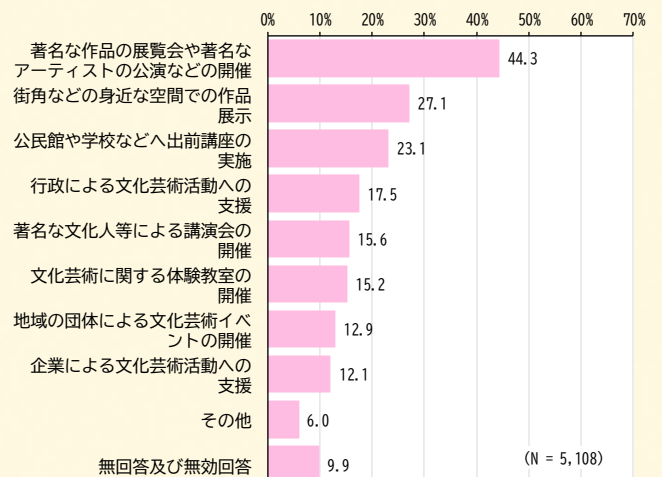
生活サービス施設の充実について、  
「満足」「やや満足」と回答した人が**39.9%**  
「不満」「やや不満」と回答した人は**12.9%**



文化芸術が身近になるためには、どのような取組が必要だと思いますか。  
(複数回答)

**文化芸術**

「著名な作品展覧会・アーティストの公演などの開催」が最も高く**4割を超えている**

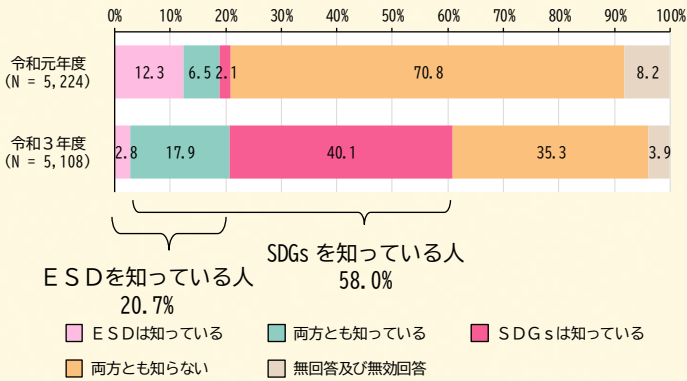




ESD及びSDGs  
という言葉を知って  
いますか。

ESD・  
SDGs

「ESD」を知っている人が**20.7%**  
「SDGs」を知っている人が**58.0%**  
前回調査と比べて「SDGsを知っている」と回答し  
た人の割合が**49.4ポイント増加**



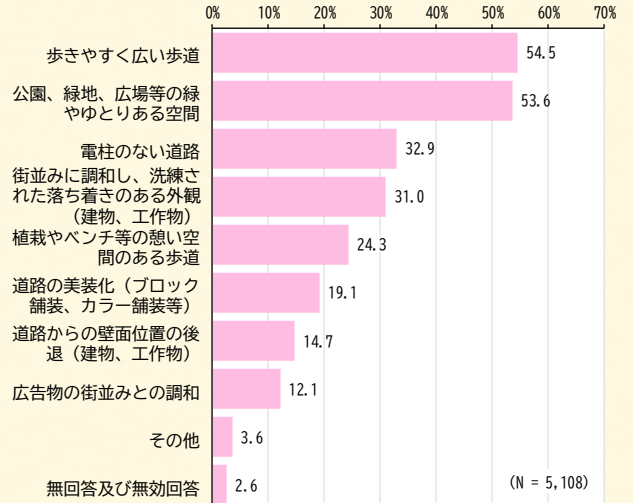
ESD : 持続可能な開発のための教育  
SDGs : 持続可能な開発目標



良好な街並みを形成する  
ためには、何が重要だと思  
いますか。(複数回答)

美しい都市  
景観の形成

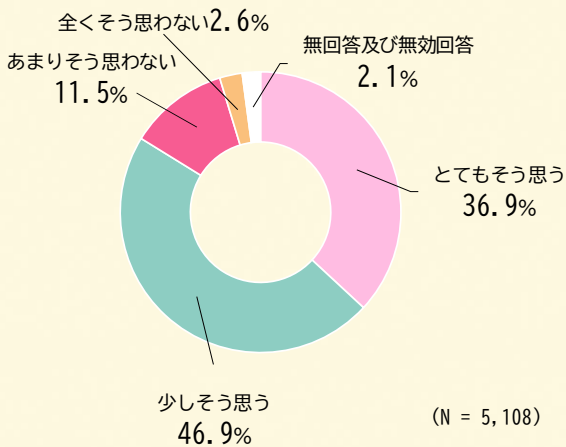
「歩きやすく広い歩道」が**54.5%**、「公園、緑  
地、広場等の緑やゆとりある空間」が**53.6%**



病気になったり、障害を  
抱えたとしても前向き  
に暮らしていこうと思  
いますか。

ポジティブ・  
ヘルス・オカヤマ  
(PHO)\*

「とてもそう思う」「少しそう思う」と  
回答した人の割合が**8割を超える**



※Positive Health Okayama (PHO)  
子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず、  
生きがいを持ち活躍できる社会を目指すこと。

## ◆調査の概要◆



### 1. 調査の目的

市政に関する市民の評価と期待を幅広く把握し、  
今後の市政運営と都市づくりを進めるうえでの基礎  
資料として活用することを目的に実施

### 2. 調査の対象

満15歳以上の市民10,000人を住民基本台帳から  
無作為抽出

### 3. 調査の方法

郵送による調査票の配布・回収

### 4. 調査の期間

令和3年7月9日～令和3年8月3日

### 5. 回収結果

有効回答数5,108通(有効回答率51.1%)